

## 選考委員賞

### 森や木に親しもう

六本木中学校 東 玲美

私は余り森に行ったりすることがないが、私が前に住んでいた鳥取県米子市では、家の近くの公園には木がたくさん生えていて、自然がたくさんあった。だからなのか、私は昔から自然が好きだ。

小学校の移動教室の課題別学習では全然私の希望とは違う自然グループになってしまい、滝のを中心に調べていった。移動教室でも実際にその場所に行き、始めはやる気なんてなかったが実際行ってみると自分が想像していたのと違い、森の中を何度も行き来しながらやっとたどり着いた生で見る滝はとても迫力があつた。その時から私もっと自然が好きになった。滝のある場所も周りに木がたくさん生えていて自然がとても素敵なものに見えた。

もともと自然はすごいものだと思う。雨が降った時はその水が一気に流れないように適度な量で流してくれるし、二酸化炭素を酸素に変えてくれる。これほどすごいものが他にあるだろうか。

なのに、東京には自然というものが全然なく、むしろビルなどの方が多い。自然があれば地球だってもっときれい

になるし、他にも良いことがたくさんある。自然が増えると虫だつて増えて嫌な人だっているだろう。でも虫だつて地球の為に働いてくれているし、大事な役割を果たしてくれている。

確かに木を使わなきゃいけない時もある。でも木を切った分植えれば良いのではないだろうか。木を植えるところがないなら植えられるところに植えれば良いだろう。それだけで環境は変わるものだ。だから私はもっと自然が増えれば良いな、と思った。

私がそう思った理由は他にもあつて、もう一つの理由は東京ではそこら中にあるビルよりも森や木の方が好きだから。森などにはあまり行かないし、歩くのも面倒だし疲れるし、そうは思っているけど、やっぱり森とかが好きなのだ。森の中を歩いていると、自然に疲れたなんて思いもなくなる。